



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浦上 博史
 問合せ先責任者（役職名）広報・IR部長（氏名）仲川 宜秀（TEL）03-5211-6039
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	205,819	7.2	14,324	△15.2	15,542	△16.1	11,606	△13.1
2022年3月期第3四半期	191,921	0.2	16,886	△9.1	18,518	4.0	13,360	97.6

（注）包括利益2023年3月期第3四半期 17,366百万円（15.4%） 2022年3月期第3四半期 15,053百万円（102.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	118.39	—
2022年3月期第3四半期	133.65	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	393,695	302,753	69.6	2,809.87
2022年3月期	382,021	298,567	70.4	2,700.99

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 274,072百万円 2022年3月期 268,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2023年3月期	—	23.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	275,300	8.6	16,000	△16.8	17,900	△15.3	11,100	△20.5	112.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

ハウス食品グループアジアパシフィック社
新規 3社 (社名) キーストーンナチュラルホールディングス社、除外 1社 (社名)
ネイチャーソイ社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	100,750,620株	2022年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,211,872株	2022年3月期	1,169,959株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	98,038,460株	2022年3月期3Q	99,963,494株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	12
3. 補足情報	14
(1) 業績の状況	14
(2) グループ会社数	14
(3) 連結損益計算書の状況	15
(4) 連結貸借対照表の状況	19
(5) 設備投資の状況	20
(6) 減価償却費の状況	20
(7) 主要経営指標等	20
(8) 参考情報	21

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症からの経済活動の再開に伴う需給ギャップの発生や、国際情勢などを背景とした世界的なインフレの進行や急激な円安の進行など事業環境の変動は大きく、先行きの不透明な状況が続きました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、人流の回復や経済活動の持ち直しなどに伴う各事業の販売回復に加えて、一部製品・サービスにおいて順次価格改定を実施していることなどにより2,058億19百万円、前年同期比7.2%の増収となりました。営業利益は、香辛・調味加工食品事業における原材料価格高騰による影響が大きく、143億24百万円、前年同期比15.2%の減益となりました。経常利益は155億42百万円、前年同期比16.1%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は116億6百万円、前年同期比13.1%の減益となりました。

なお、2022年9月16日公表の通り、当社は2022年9月30日付で米国キーストンナチュラルホールディングス社を子会社化しております。当第3四半期連結会計期間において、同社の買収に伴う一時的な費用を海外食品事業セグメントに計上しております。

セグメント別の経営成績の概況（セグメント間取引消去前）は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	91,040	101.6	6,769	66.2
健康食品事業	13,097	115.4	1,900	700.6
海外食品事業	34,967	117.8	4,467	94.4
外食事業	35,382	106.1	1,320	139.5
その他食品関連事業	38,370	111.7	818	64.0
小計	212,855	107.3	15,274	87.5
調整(消去)	△7,036	—	△950	—
合計	205,819	107.2	14,324	84.8

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントは、2022年4月よりマロニー(株)の一部事業をハウス食品(株)に譲渡するなど、グループ全体での効率化や提案力強化に努めています。

ハウス食品(株)の売上高は、業務用事業やレトルト製品、スナック製品が好調に推移したことで増収となりました。主力のルー製品は、2022年8月に実施した価格改定後の新しい値ごろ感の浸透に注力しており、当第3四半期連結累計期間では減収となりましたが徐々に回復傾向にあります。一方利益面は、原材料やエネルギー価格の高騰などのコストアップを吸収するには至らず、減益となりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は910億40百万円、前年同期比1.6%の増収、営業利益は67億69百万円、前年同期比33.8%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は7.4%となり、前年同期より4.0pt減少しました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは、国内の構造改革の推進とともにグローバルな機能性素材系バリューチェーンの早期構築に取り組んでいます。

ハウスウェルネスフーズ(株)の売上高は、「ウコンの力」の回復に加え、「1日分のビタミン」、「まるでスムージー」など注力するゼリー製品が好調に推移したことで増収となりました。利益面は、従来から取り組む国内構造改革の成果に加え、増収効果もあり増益となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は130億97百万円、前年同期比15.4%の増収、営業利益は19億円、前年同期比600.6%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は14.5%となり、前年同期より12.1pt向上しました。

<海外食品事業>連結対象期間：主として2022年1月～9月

当事業セグメントは、重点3エリア（米国・中国・東南アジア）において成長スピードの加速に取り組んでいます。

米国豆腐事業は、急速なインフレによる消費マインドの停滞が懸念されるなか、2022年1月実施の価格改定もあり増収となりました。利益面は、既存事業で増収効果や為替影響もあり増益を確保いたしましたが、事業全体ではキーストーンナチュラルホールディングス社買収に伴うアドバイザー費用を計上したことにより減益となりました。

中国カレー事業は、ゼロコロナ政策による影響を色濃く受ける形となりました。売上高は、都市部でのロックダウンにより業務用事業が減収となったものの、家庭用事業は好調に推移し事業全体では増収となりました。利益面は、家庭用事業の増収や為替影響が寄与し増益となりました。

タイ機能性飲料事業は、トラディショナルトレードで前年同期からの反動や洪水被害の拡大による影響はありましたが、都市部への人流増加などによりモダントレードが底支えし、増収増益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は349億67百万円、前年同期比17.8%の増収、営業利益は44億67百万円、前年同期比5.6%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は12.8%となり、前年同期より3.2pt減少しました。

<外食事業>連結対象期間：(株)壺番屋は2022年3月～11月、海外子会社は2022年1月～9月

当事業セグメントは、ウィズコロナでの環境変化や利便性向上に対応しながら、常に期待値を超える外食チェーンをめざし、国内外でのさらなる成長に取り組んでいます。

(株)壺番屋の国内既存店売上高は、新型コロナウイルス感染症の第7波の影響があったものの、3月下旬に営業時間短縮等の要請が全面解除となって以降、客数は堅調に推移し、10月から始まった全国旅行支援による人流回復の影響も加わり、前年同期比5.5%増となりました。海外店舗の既存店売上高は、ゼロコロナ政策を維持する中国では断続的なロックダウンの影響があったものの、その他の国やエリアでは概ね回復に向かい、全体では11.5%増となりました。

営業利益は、原材料や水道光熱費、物流コスト等の高騰の影響を受けましたが、増収効果が寄与し前年同期を上回りました。

以上の結果、外食事業の売上高は353億82百万円、前年同期比6.1%の増収、営業利益は13億20百万円、前年同期比39.5%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は3.7%となり、前年同期より0.9pt向上しました。

<その他食品関連事業>

(株)デリカシェフは、デザートや焼成パン類の伸長により前年同期並みの売上は確保したものの、原材料価格の高騰や製造経費の増加により営業利益を大きく落としました。

(株)ヴォークス・トレーディングは、外食需要の回復や輸出商材が好調に推移し増収となりましたが、コストの増加などにより減益となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は383億70百万円、前年同期比11.7%の増収、営業利益は8億18百万円、前年同期比36.0%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は2.1%となり、前年同期より1.6pt減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、3,936億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて116億74百万円の増加となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金や商品及び製品が増加した一方で、キーストーンナチュラルホールディングス社を子会社化した影響等により現金及び預金が減少したことなどから、45億35百万円減少の1,525億88百万円となりました。固定資産は、投資有価証券が減少した一方で、キーストーンナチュラルホールディングス社を子会社化した影響等によりのれんが増加したことや、建設仮勘定、退職給付に係る資産、建物及び構築物が増加したことなどから、162億9百万円増加の2,411億7百万円となりました。

負債は、909億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて74億88百万円の増加となりました。

流動負債は、未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金が増加したことなどから、58億円増加の574億9百万円となりました。固定負債は、退職給付に係る負債が増加したことなどから、16億88百万円増加の335億33百万円となりました。

純資産は、自己株式の取得により自己株式が増加したことや、保有する投資有価証券の売却によりその他有価証券評価差額金が減少した一方で、為替換算調整勘定が増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて41億86百万円増加の3,027億53百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は69.6%（前連結会計年度末は70.4%）、1株当たり純資産は2,809円87銭（前連結会計年度末は2,700円99銭）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績につきましては、2022年11月8日発表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	75,004	58,758
受取手形及び売掛金	46,446	57,020
有価証券	6,008	4,303
商品及び製品	14,292	16,134
仕掛品	2,520	3,338
原材料及び貯蔵品	6,080	7,704
その他	6,866	5,418
貸倒引当金	△92	△87
流動資産合計	157,123	152,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,717	35,144
機械装置及び運搬具(純額)	19,740	20,629
土地	31,314	31,776
リース資産(純額)	1,479	1,320
建設仮勘定	3,538	8,369
その他(純額)	2,235	2,325
有形固定資産合計	92,024	99,564
無形固定資産		
のれん	268	14,062
商標権	18,850	18,559
ソフトウェア	4,354	3,749
契約関連無形資産	19,002	18,402
ソフトウェア仮勘定	124	433
その他	770	839
無形固定資産合計	43,368	56,044
投資その他の資産		
投資有価証券	66,729	59,243
長期貸付金	2	6
繰延税金資産	753	828
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	14,325	17,832
破産更生債権等	622	613
長期預け金	1,073	1,069
その他	6,867	6,703
貸倒引当金	△1,865	△1,794
投資その他の資産合計	89,506	85,499
固定資産合計	224,898	241,107
資産合計	382,021	393,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,264	23,464
電子記録債務	1,269	1,598
短期借入金	4,149	5,487
リース債務	575	668
未払金	9,986	8,069
未払法人税等	3,452	1,742
賞与引当金	472	236
役員賞与引当金	58	45
株主優待引当金	96	81
資産除去債務	4	37
その他	13,284	15,983
流動負債合計	51,609	57,409
固定負債		
長期借入金	177	189
リース債務	963	682
長期未払金	181	183
繰延税金負債	23,220	21,529
退職給付に係る負債	1,999	4,628
資産除去債務	815	1,030
長期預り保証金	3,877	3,789
その他	613	1,503
固定負債合計	31,845	33,533
負債合計	83,454	90,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	22,829	22,828
利益剰余金	208,969	216,041
自己株式	△3,984	△9,957
株主資本合計	237,762	238,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,257	18,471
繰延ヘッジ損益	40	93
為替換算調整勘定	2,925	10,493
退職給付に係る調整累計額	6,982	6,155
その他の包括利益累計額合計	31,204	35,211
非支配株主持分	29,601	28,681
純資産合計	298,567	302,753
負債純資産合計	382,021	393,695

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	191,921	205,819
売上原価	118,864	132,165
売上総利益	73,057	73,654
販売費及び一般管理費	56,171	59,330
営業利益	16,886	14,324
営業外収益		
受取利息	142	200
受取配当金	410	448
持分法による投資利益	—	92
受取家賃	639	657
為替差益	242	204
補助金収入	865	243
その他	350	301
営業外収益合計	2,648	2,144
営業外費用		
支払利息	35	205
賃貸費用	519	517
持分法による投資損失	21	—
訴訟関連費用	278	34
その他	163	169
営業外費用合計	1,016	925
経常利益	18,518	15,542
特別利益		
固定資産売却益	62	1
投資有価証券売却益	3,099	3,344
店舗売却益	65	69
その他	10	7
特別利益合計	3,237	3,421
特別損失		
固定資産売却損	0	50
固定資産除却損	125	94
投資有価証券売却損	—	1
投資有価証券評価損	14	122
会員権評価損	—	1
減損損失	151	80
その他	0	35
特別損失合計	291	383
税金等調整前四半期純利益	21,464	18,580
法人税等	6,571	5,746
四半期純利益	14,893	12,834
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,360	11,606
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,533	1,228

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,342	△2,801
繰延ヘッジ損益	63	61
為替換算調整勘定	2,160	7,996
退職給付に係る調整額	△664	△863
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	139
その他の包括利益合計	160	4,532
四半期包括利益	15,053	17,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,704	15,614
非支配株主に係る四半期包括利益	1,350	1,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,050,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,972百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が9,957百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の会計上の見積りに与える影響)

前連結会計年度に行った会計上の見積りの前提となる仮定を大きく変更する状況には至っていないと判断しておりますが、新型コロナウイルス感染症が社会・経済活動に与える影響は依然不透明な状況が続くと考えられます。健康食品事業に係る固定資産等の減損検討に際しては、新型コロナウイルス感染症の影響に関する一定の仮定を用いている為、現時点での想定にさらに大きな変化が生じた場合、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	86,063	11,123	29,575	33,258	31,826	191,844	—	191,844	77	191,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,542	221	106	89	2,518	6,478	—	6,478	△6,478	—
計	89,605	11,344	29,681	33,347	34,344	198,322	—	198,322	△6,400	191,921
セグメント利益又は 損失(△)	10,218	271	4,734	946	1,278	17,448	—	17,448	△561	16,886

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益△561百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、151百万円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	87,215	12,741	34,836	35,305	35,643	205,740	—	205,740	79	205,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,825	356	131	78	2,726	7,115	—	7,115	△7,115	—
計	91,040	13,097	34,967	35,382	38,370	212,855	—	212,855	△7,036	205,819
セグメント利益又は 損失(△)	6,769	1,900	4,467	1,320	818	15,274	—	15,274	△950	14,324

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△) △950百万円には、主に事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)の損益が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、キーストーンナチュラルホールディングス社の株式を取得し、連結範囲に含めた事により、「海外食品事業」のセグメント資産が14,932百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、80百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、キーストーンナチュラルホールディングス社の株式を取得し、連結範囲に含めた事により、「海外食品事業」のセグメントにおいて、のれんが13,828百万円増加しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：キーストーンナチュラルホールディングス社

事業の内容：豆腐及び植物由来食品（Plant Based food（以下、「PBF」））の製造販売

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、2021年4月からスタートした第七次中期計画において、「4系列バリューチェーンへのチャレンジ」を掲げ、「スパイス系」「機能性素材系」「大豆系」「付加価値野菜系」の4つのバリューチェーンを私どもの提供価値である「食で健康」をお届けする領域と定め、経営資源を成長領域へ重点的に配分することで持続的な成長をめざしております。

大豆系バリューチェーンにおいては、1983年より米国にて豆腐事業を展開しておりますが、アジア系市場を中心に堅調に成長を続け、近年では健康意識の高まりに加え、地球環境保護などの観点からPBFの潮流にも支えられ、米系市場への販売が拡大しております。

米国は人口3.3億人という非常に大きな市場であり、今後も人口増加が続く有望な市場と捉えております。今後の消費を牽引していくミレニアル世代及びZ世代と呼ばれる世代は、気候変動に対する関心が強く、環境負荷の低い食品を選ぶ傾向にあることから、豆腐を含むPBF市場は今後も持続的な成長が見込まれます。

事業会社として豆腐事業を手掛けるハウスフーズアメリカ社は、豆腐事業の成長拡大へ設備投資を行う一方、米系市場への更なる展開を目的とし、事業領域拡大へ向けた検討を行ってまいりました。

キーストーンナチュラルホールディングス社は、米国、カナダにおける豆腐及び肉代替製品などのPBF製品の製造販売企業であり、クリーンな原材料やおいしさに拘り、多くのお客さまに健康的な食生活を提供するというビジョンを掲げ、近年着実な成長を遂げております。このビジョンは、ハウスフーズアメリカ社がめざす方向性と合致しており、双方、豆腐を軸とし、製品の展開領域、米国内の販売エリア・顧客基盤など相互補完性が強く、将来の成長へ向けた戦略的パートナーとしての適合性は高いと考えております。

今後、キーストーンナチュラルホールディングス社が保有する製品開発力やハウスフーズアメリカ社及び当社グループが保有する技術との連携により、付加価値型の豆腐、PBF等のポートフォリオ拡充を実現し、米系市場への展開を加速いたします。本買収により、ケンタッキー州に建設予定の生産拠点を含め、大豆系バリューチェーンとして計8か所の生産拠点を有することになりますが、最適な生産供給、販売体制を構築し、より多くのお客さまへのサービス提供をめざします。また、キーストーンナチュラルホールディングス社のリソースも含めて、欧州など米国以外のエリアへの事業展開の検討を進めてまいります。キーストーンナチュラルホールディングス社のグループ化により、米国豆腐事業の中長期的な成長を企図するとともに、グローバル化をより一層進め、人と地球の健康に貢献できるグッドパートナー、サステナブルな社会構築をめざしてまいります。

③ 企業結合日

2022年9月30日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社が現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益及び包括利益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業の四半期会計期間の末日と当第3四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第3四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益及び包括利益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得価額及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	13,498百万円
取得価額		13,498百万円

なお、契約に基づく買収価額の調整を精査中であり、取得価額は暫定の金額です。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

13,828百万円

なお、のれんは、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

キーストーンナチュラルホールディングス社の今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

3. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期		23.3期 第3四半期		22.3期 通期		23.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	191,921	100.2%	205,819	107.2%	253,386	101.3%	275,300	108.6%
営業利益	16,886	90.9%	14,324	84.8%	19,227	99.0%	16,000	83.2%
経常利益	18,518	104.0%	15,542	83.9%	21,125	106.5%	17,900	84.7%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	13,360	197.6%	11,606	86.9%	13,956	159.5%	11,100	79.5%
包括利益	15,053	202.1%	17,366	115.4%	21,581	175.7%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	22.3期 第3四半期		23.3期 第3四半期		22.3期 通期		23.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	89,605	96.3%	91,040	101.6%	117,422	97.5%	122,900	104.7%
健康食品事業	11,344	92.6%	13,097	115.4%	14,432	94.4%	16,500	114.3%
海外食品事業	29,681	106.5%	34,967	117.8%	39,110	114.8%	48,700	124.5%
外食事業	33,347	100.2%	35,382	106.1%	45,422	101.6%	47,300	104.1%
その他食品関連事業	34,344	109.5%	38,370	111.7%	45,571	103.8%	48,900	107.3%
調整額	△6,400	—	△7,036	—	△8,571	—	△9,000	—

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	22.3期 第3四半期		23.3期 第3四半期		22.3期 通期		23.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	10,218	74.7%	6,769	66.2%	12,628	80.9%	8,800	69.7%
健康食品事業	271	80.8%	1,900	700.6%	△138	—	1,400	—
海外食品事業	4,734	101.8%	4,467	94.4%	5,250	114.5%	5,400	102.9%
外食事業	946	—	1,320	139.5%	1,502	—	1,700	113.2%
その他食品関連事業	1,278	88.4%	818	64.0%	1,480	83.6%	1,200	81.1%
調整額	△561	—	△950	—	△1,494	—	△2,500	—

(2) グループ会社数

	22.3期 第3四半期		23.3期 第3四半期		22.3期 通期	
	国内	海外	国内	海外	国内	海外
連結子会社数	37社	42社	37社	42社	37社	42社
持分法適用関連会社	5社	5社	5社	5社	5社	5社
国内	2社	2社	2社	2社	2社	2社
海外	3社	3社	3社	3社	3社	3社

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期		23.3期 第3四半期		対前年同期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	191,921	100.0%	205,819	100.0%	13,897	7.2%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	89,605	46.7%	91,040	44.2%	1,435	1.6%
健康食品事業	11,344	5.9%	13,097	6.4%	1,752	15.4%
海外食品事業	29,681	15.5%	34,967	17.0%	5,285	17.8%
外食事業	33,347	17.4%	35,382	17.2%	2,035	6.1%
その他食品関連事業	34,344	17.9%	38,370	18.6%	4,026	11.7%
調整額	△6,400	△3.3%	△7,036	△3.4%	△636	—
売上原価	118,864	61.9%	132,165	64.2%	13,301	11.2%
販売費・一般管理費	56,171	29.3%	59,330	28.8%	3,160	5.6%
営業利益	16,886	8.8%	14,324	7.0%	△2,563	△15.2%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	10,218	5.3%	6,769	3.3%	△3,449	△33.8%
健康食品事業	271	0.1%	1,900	0.9%	1,629	600.6%
海外食品事業	4,734	2.5%	4,467	2.2%	△267	△5.6%
外食事業	946	0.5%	1,320	0.6%	374	39.5%
その他食品関連事業	1,278	0.7%	818	0.4%	△460	△36.0%
調整額	△561	△0.3%	△950	△0.5%	△389	—
営業外収益	2,648	1.4%	2,144	1.0%	△504	△19.0%
営業外費用	1,016	0.5%	925	0.4%	△90	△8.9%
経常利益	18,518	9.6%	15,542	7.6%	△2,976	△16.1%
特別利益	3,237	1.7%	3,421	1.7%	184	5.7%
特別損失	291	0.2%	383	0.2%	92	31.5%
税金等調整前四半期純利益	21,464	11.2%	18,580	9.0%	△2,884	△13.4%
法人税等	6,571	3.4%	5,746	2.8%	△824	△12.5%
四半期純利益	14,893	7.8%	12,834	6.2%	△2,060	△13.8%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,360	7.0%	11,606	5.6%	△1,754	△13.1%
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,533	0.8%	1,228	0.6%	△306	△19.9%
四半期包括利益	15,053	7.8%	17,366	8.4%	2,313	15.4%

② 販売費・一般管理費の主な増減内容

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期	23.3期 第3四半期	対前年同期増減
広告宣伝費	6,117	5,835	△282
運送費及び保管費	8,191	9,000	809
販売手数料	86	90	3
販売促進費	2,199	2,293	95
人件費	20,817	21,261	444
研究開発費	3,226	3,273	46
のれん償却額	33	33	—
その他	15,502	17,546	2,044
販売費・一般管理費計	56,171	59,330	3,160

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期	23.3期 第3四半期	対前年同期増減
受取利息	142	200	58
受取配当金	410	448	37
持分法による投資利益	—	92	92
受取家賃	639	657	17
為替差益	242	204	△38
補助金収入	865	243	△622
その他	350	301	△49
営業外収益計	2,648	2,144	△504
支払利息	35	205	170
賃貸費用	519	517	△2
持分法による投資損失	21	—	△21
訴訟関連費用	278	34	△245
その他	163	169	7
営業外費用計	1,016	925	△90

④ 特別損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期	23.3期 第3四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	62	1	△61
投資有価証券売却益	3,099	3,344	245
店舗売却益	65	69	3
その他	10	7	△3
特別利益計	3,237	3,421	184
固定資産売却損	0	50	50
固定資産除却損	125	94	△32
投資有価証券売却損	—	1	1
投資有価証券評価損	14	122	108
会員権評価損	—	1	1
減損損失	151	80	△71
その他	0	35	35
特別損失計	291	383	92

⑤ 四半期の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期					23.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	61,636	62,491	67,794	61,464	253,386	66,324	67,507	71,988		205,819
前期増減	1,886	△1,444	△150	3,028	3,320	4,688	5,016	4,194		13,897
営業利益	5,690	3,341	7,855	2,341	19,227	4,970	2,662	6,692		14,324
前期増減	1,259	△2,134	△820	1,508	△186	△720	△680	△1,163		△2,563
経常利益	6,345	3,991	8,182	2,607	21,125	5,591	3,373	6,578		15,542
前期増減	1,830	△333	△780	570	1,288	△754	△618	△1,604		△2,976
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,073	3,138	6,149	596	13,956	3,597	1,896	6,114		11,606
前期増減	1,261	4,956	383	△1,395	5,204	△476	△1,241	△36		△1,754
包括利益	5,032	4,734	5,288	6,528	21,581	3,999	6,218	7,149		17,366
前期増減	2,055	7,636	△2,087	1,693	9,298	△1,032	1,484	1,861		2,313

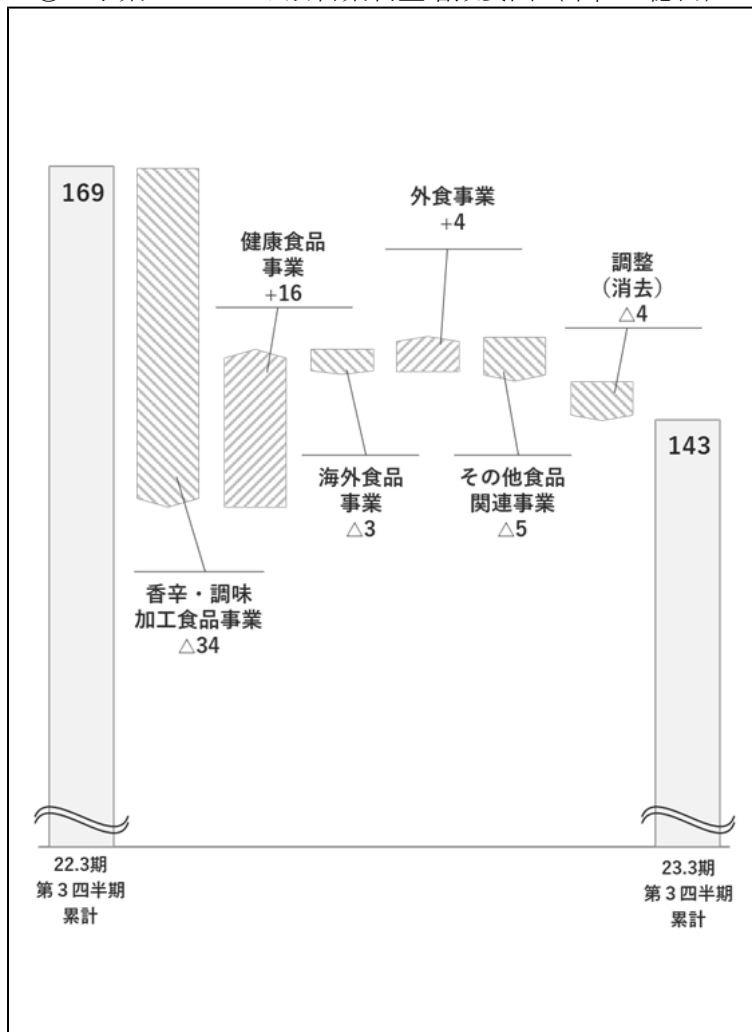
《事業セグメント別売上高》

売上高	22.3期					23.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	27,631	29,334	32,640	27,817	117,422	28,326	29,688	33,027		91,040
前期増減	△1,696	△538	△1,231	508	△2,958	694	354	387		1,435
健康食品事業	3,351	3,689	4,305	3,088	14,432	4,110	4,412	4,575		13,097
前期増減	△389	△666	153	54	△848	759	723	270		1,752
海外食品事業	9,813	9,627	10,241	9,429	39,110	10,796	11,824	12,346		34,967
前期増減	1,718	△543	628	3,251	5,054	984	2,197	2,105		5,285
外食事業	11,126	10,979	11,242	12,074	45,422	11,334	11,612	12,436		35,382
前期増減	700	△262	△359	645	724	208	633	1,194		2,035
その他食品関連事業	11,675	11,192	11,477	11,227	45,571	13,921	12,466	11,983		38,370
前期増減	999	1,106	884	△1,341	1,648	2,246	1,274	506		4,026
調整額	△1,960	△2,330	△2,111	△2,171	△8,571	△2,163	△2,495	△2,379		△7,036
前期増減	554	△540	△225	△88	△300	△204	△165	△268		△636

《事業セグメント別営業利益》

営業利益	22.3期					23.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
香辛・調味加工食品事業	3,075	2,326	4,816	2,410	12,628	2,251	955	3,564		6,769
前期増減	△1,199	△1,356	△902	471	△2,986	△824	△1,372	△1,253		△3,449
ROS	11.1%	7.9%	14.8%	8.7%	10.8%	7.9%	3.2%	10.8%		7.4%
健康食品事業	△163	△170	604	△410	△138	465	611	824		1,900
前期増減	60	△341	216	322	258	627	781	220		1,629
ROS	△4.9%	△4.6%	14.0%	△13.3%	△1.0%	11.3%	13.9%	18.0%		14.5%
海外食品事業	1,983	1,244	1,507	516	5,250	1,747	1,359	1,361		4,467
前期増減	973	△718	△170	581	665	△236	115	△146		△267
ROS	20.2%	12.9%	14.7%	5.5%	13.4%	16.2%	11.5%	11.0%		12.8%
外食事業	350	176	420	556	1,502	193	454	673		1,320
前期増減	1,277	692	△133	327	2,162	△158	278	253		374
ROS	3.1%	1.6%	3.7%	4.6%	3.3%	1.7%	3.9%	5.4%		3.7%
その他食品関連事業	471	328	479	201	1,480	362	158	297		818
前期増減	△37	△85	△47	△122	△290	△109	△170	△182		△460
ROS	4.0%	2.9%	4.2%	1.8%	3.2%	2.6%	1.3%	2.5%		2.1%
調整額	△27	△563	28	△933	△1,494	△47	△876	△27		△950
前期増減	185	△325	215	△71	4	△21	△313	△55		△389

⑥ 事業セグメント別営業利益増減要因 (単位：億円)



単位：億円	対前年増減額
香辛・調味加工食品事業	△34
売上高変動	+12
原価率変動	△30
マーケティングコスト	△7
その他経費	△5
ギャバン等関連会社、調整	△5
健康食品事業	+16
売上高変動	+11
原価率変動	+1
マーケティングコスト	+3
その他経費	+2
海外食品事業	△3
米国事業	△3
中国事業	+1
東南アジア事業	+2
貿易他	△2
外食事業	+4
壺番屋(連結)	+4
その他食品関連事業	△5
デリカシェフ	△3
ヴォークス・トレーディング(連結)	△2
調整(消去)	△4
連結営業利益増減	△26

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	22.3期末		23.3期 第3四半期末		対前期末 増減 金額	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	157,123	41.1%	152,588	38.8%	△4,535	現金及び預金の減少 △16,246 有価証券の減少 △1,705 受取手形及び売掛金の増加 10,575 商品及び製品の増加 1,842 原材料及び貯蔵品の増加 1,624
固定資産	224,898	58.9%	241,107	61.2%	16,209	のれんの増加 13,794 建設仮勘定の増加 4,831 退職給付に係る資産の増加 3,507 建物及び構築物の増加 1,426 投資有価証券の減少 △7,486
資産合計	382,021	100.0%	393,695	100.0%	11,674	
流動負債	51,609	13.5%	57,409	14.6%	5,800	支払手形及び買掛金の増加 5,200 その他の流動負債の増加 2,699 未払金の減少 △1,918
固定負債	31,845	8.3%	33,533	8.5%	1,688	退職給付に係る負債の増加 2,630 その他の固定負債の増加 890 繰延税金負債の減少 △1,691
負債合計	83,454	21.8%	90,942	23.1%	7,488	
株主資本合計	237,762	62.2%	238,860	60.7%	1,098	利益剰余金の増加 7,073 自己株式の増加 △5,972
その他の包括利益 累計額合計	31,204	8.2%	35,211	8.9%	4,007	為替換算調整勘定の増加 7,567 その他有価証券評価差額金の減少 △2,786 退職給付に係る調整累計額の減少 △827
非支配株主持分	29,601	7.7%	28,681	7.3%	△920	
純資産合計	298,567	78.2%	302,753	76.9%	4,186	
負債純資産合計	382,021	100.0%	393,695	100.0%	11,674	

(5) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期	23.3期 第3四半期	23.3期 通期見込
設 備 投 資	7,999	9,487	17,900
リ ー ス	496	398	500
合 計	8,496	9,885	18,400

(6) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	22.3期 第3四半期	23.3期 第3四半期	23.3期 通期見込
減 価 償 却 費	8,022	8,417	11,400
支 払 リ ー ス 料	225	221	300
合 計	8,246	8,639	11,700

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めておりません。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	22.3期	23.3期 第3四半期	23.3期 通期修正予想
一株当たり四半期(当期)純利益	139.75円	118.39円	112.93円
一株当たり純資産	2,700.99円	2,809.87円	2,763.06円
総資産回転率	0.67回	—	0.72回
売上高営業利益率	7.6%	7.0%	5.8%
E B I T D A マージン	11.9%	11.0%	10.1%
売上高経常利益率	8.3%	7.6%	6.5%
総資産営業利益率	5.1%	—	4.2%
自己資本当期純利益率	5.3%	—	4.1%
自己資本比率	70.4%	69.6%	69.6%
一株当たり配当金	46.00円	—	46.00円
配当性向	32.9%	—	40.7%
利益配分の基本方針に基づく配当性向	31.8%	—	39.6%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従 業 員 数	22.3期	23.3期	23.3期 通期修正予想
	6,169人	6,546人	—

◎休職者・パートを含みません。

(8) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位: 億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
ルウカレー	553	529	513	505	469
ルウシチュー	210	196	189	189	181
ルウハヤシ	71	71	71	73	66
レトルトカレー	671	707	753	789	787
スパイストータル	823	859	884	1,006	970

② ルウカレー市場動向 (S R I +)

2023.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
マーケット 全体	平均売価	192円	196円	211円		194円		199円
	前年差	△1円	+2円	+19円		+1円		+6円
ハウス食品	平均売価	190円	196円	217円		193円		200円
	前年差	△2円	+4円	+26円		+1円		+8円
	金額シェア	62.1%	61.8%	60.8%		62.0%		61.6%

出典: (株) インテージ S R I + 月次データ (2022.4-2022.12)

③ 事業別動向 (売上高前年比)

2023.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	通期
香辛・調味加工食品事業 (ハウス食品)								
ルウカレー	※1	103.3%	96.5%	89.9%		99.9%		96.6%
レトルトカレー	※1	107.3%	110.7%	114.4%		109.2%		110.8%
ルウシチュー	※1	93.3%	98.6%	102.5%		96.9%		100.0%
スパイス	※1	94.6%	98.4%	103.4%		96.5%		98.8%
業務用	※1	107.0%	112.3%	105.9%		109.7%		108.3%
健康食品事業 (ハウスウェルネスフーズ)								
ウコンの力	※1	175.8%	149.8%	103.4%		162.0%		130.2%
C1000	※1	102.3%	99.1%	100.1%		100.7%		100.5%
1日分のビタミン	※1	110.9%	121.9%	118.8%		117.1%		117.6%
海外食品事業 (現地通貨ベース)								
米国事業		104.5%	106.2%	108.3%		105.3%		106.3%
中国事業		82.6%	124.2%	115.5%		100.3%		105.6%
タイ機能性飲料事業		122.3%	103.1%	78.4%		111.3%		100.0%
外食事業 (壺番屋)								
国内全店売上高		99.6%	107.3%	106.8%		103.4%		104.5%
国内既存店売上高		100.8%	108.3%	107.7%		104.5%		105.5%
客数		101.6%	105.9%	105.1%		103.7%		104.2%
客単価		99.2%	102.2%	102.5%		100.7%		101.3%

※1 製品別実績は出荷ベースの参考値